

| | | | | | |
|--|--|---|----|---|------|
| 科目名 | | 3DインテリアI | | | |
| 担当教員 | | 木戸 久美子 | | 実務授業の有無 | 有 |
| 対象学科 | インテリアデザイン科 | 対象学年 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 必修・選択 | 必修 | 授業形式 | 実習 | 時間数 | 48時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方 | | コーディネーターの実務に必要な、プレゼンテーションの必要性と技法を学び、3Dインテリアデザイナーの基本操作を習得しコンペ作品等に対応する実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. プレゼンボードの制作の中心に見せ方、描き方学び、訴求力のあるプレゼンシートを作成する。 3. 条件に則したプレゼンツールの進め方の基本を理解する。 | | | |
| 学習目標 (到達目標) | | インテリアコーディネーターの業務においてプレゼンテーションの重要性を理解します。3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアコーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボードをつくるテクニックを学びます。 | | | |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料 | | 超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 3DインテリアデザイナーNeo 3 | | | |
| NO. | 授業項目、内容 | | | 学習方法・準備学習・備考 | |
| 1 | 店舗併用住宅-1 コーディネートロールプレイング ・インテリアコーディネーターの役割を学ぶ。 | | | 方法：依頼主やコーディネーターとなり、それぞれの立場からインテリアコーディネーターの役割を学ぶ。 目標：インテリアコーディネーターの実務フローを学ぶ。 | |
| 2 | 店舗併用住宅-2 ヒアリング・カウンセリング ・要望の確認、実態調査 ・空間、エレメント等のイメージ確認 | | | 方法：要望・条件についてヒアリング、カウンセリング 目標達成：イメージボード、カラースキームの作成し、インテリアのデザインイメージをまとめる。 | |
| 3 | 店舗併用住宅-3 エスキス作成 ・要望、要件を理解し、間取りを作成する。 | | | 方法：依頼主の要望・要件に沿ったエスキスを作成する。 目標達成：平面計画、配置計画の完成 | |
| 4 | 店舗併用住宅-4 間取りの作成 ・CADデータを読み込み敷地を作成する。 ・部屋配置、間取り作成する。 | | | 方法：平面図を下絵に間取りを作成する。CADデータを読み込み、敷地を作成する。 目標達成：各諸室の配置と動線計画について考える。 | |
| 5 | 店舗併用住宅-5 インテリアエレメントの作成 ・内外装テクスチャの作成する。 ・家具、窓装飾、照明器具の配置計画 | | | 方法：依頼主の要望に沿ったインテリアイメージを考慮し、内外装デザイン、各エレメントの配置をする。 目標達成：独創的アイデアや工夫のあるプランを目指す。 | |
| 6 | 店舗併用住宅-6 外構の作成 ・駐車スペース、庭、アプローチの作成する。 | | | 方法：店舗と住宅の外部動線を意識し外構を作成する。 目標達成：建物全体のバランスを調整しプランを完成する。 | |
| 7 | 店舗併用住宅-7 ・プレゼンシートを作成する。 | | | 方法：インテリアイメージに沿ったシートデザインを考慮しプレゼンボード作成する。 目標達成：依頼主に訴求力のある内容とする。 | |
| 8 | 店舗併用住宅-8 ・課題発表 | | | 方法：パワーポイントを使用し、課題について発表する。他の学生課題の評価をする。 目標達成：プレゼンテーション力の向上を目指す。 | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |
| 評価方法・成績評価基準 | | | | 履修上の注意 | |
| 課題 | 取組姿勢 | | | 課題制作から実務に必要な訴求力のあるプレゼンテーション力を身に付ける。依頼主とコーディネーターそれぞれの立場を経験することで、コーディネーターの実務における役割を理解する。ヒアリングからプレゼンテーションまで実務フローに沿った内容である為、イメージの共有力、素材やトレンドの知識、計画性など多くのスキルが求められる。日頃から様々な事に興味と探求心を持ち課題に挑戦しよう！ | |
| 成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 | | | | | |
| 実務経験教員の経歴 | | インテリアコーディネーターの業務における歴20年 | | | |